
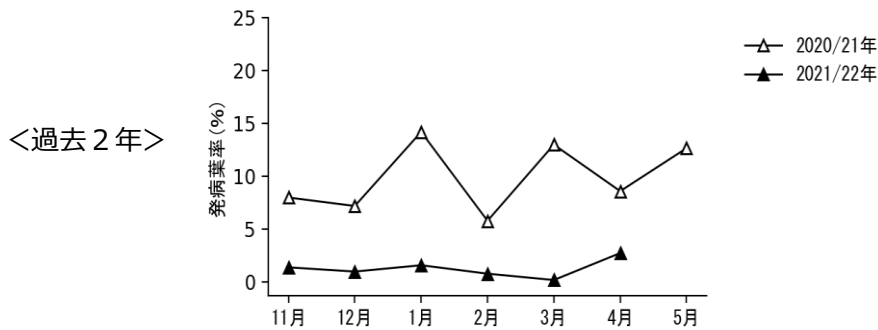
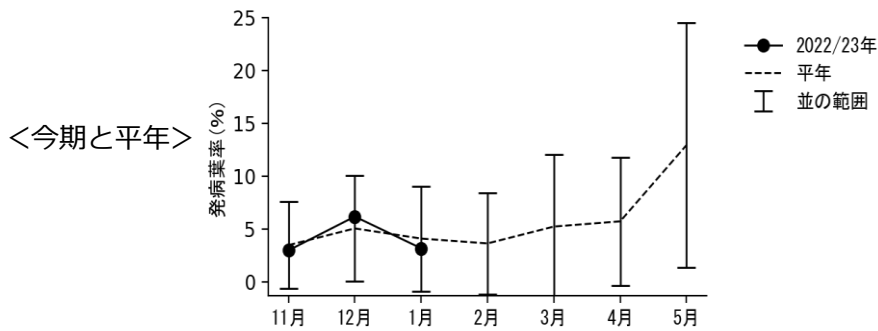


|       |               |               |    |   |
|-------|---------------|---------------|----|---|
| 作物    | ニガウリ(施設)      |               | 地域 | 沖縄群島  |
| 病害虫名  | ① うどんこ病       |               |    |  |
| 調査結果  | 1 月の発生量 (平年比) | 並             |    |   |
| 予 報   | 1 月からの増減傾向    | →             |    |   |
|       | 2 月の発生量 (平年比) | 並             |    |   |
| 予報の根拠 |               | 平年の発生量の推移 (→) |    |   |

調査結果


発病葉率の推移



・発生施設率40.0% (平年 : 46.0%)

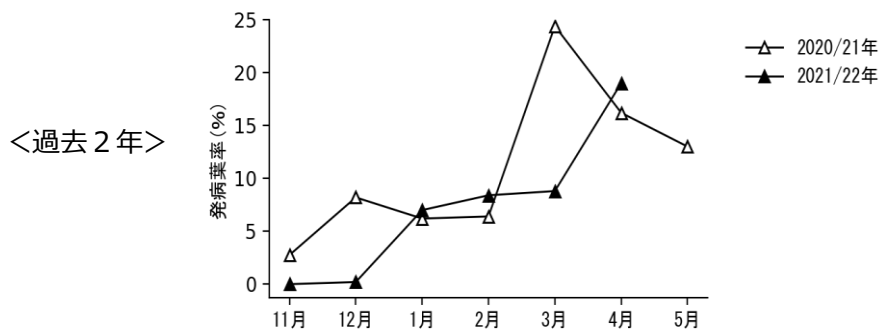
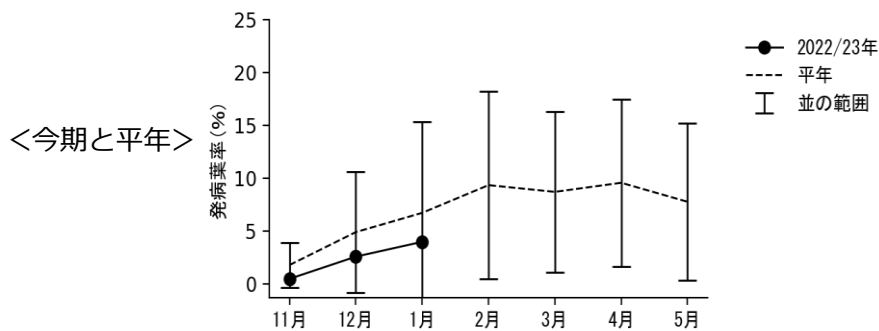
防除のポイント

- ・老葉や病葉は発生源になるので除去し、施設外に持ち出し処分する。
- ・過繁茂を避け、透光通風を良くする。
- ・多湿条件で発生し、その後乾燥が続くと被害が拡大するため、湿度管理に注意する。
- ・多発すると防除が困難になるため、予防散布に重点をおく。硫黄粉剤による予防は効果が期待できる。

|       |               |               |   |      |
|-------|---------------|---------------|---|------|
| 作物    | ニガウリ(施設)      |               | 地域  | 沖縄群島 |
| 病害虫名  | ② 斑点病         |               |  |      |
| 調査結果  | 1 月の発生量 (平年比) | 並             |   |      |
| 予報    | 1 月からの増減傾向    | ↗             |   |      |
|       | 2 月の発生量 (平年比) | 並             |   |      |
| 予報の根拠 |               | 平年の発生量の推移 (↗) |   |      |

調査結果


発病葉率の推移



・発生施設率60.0% (平年 : 60.0%)

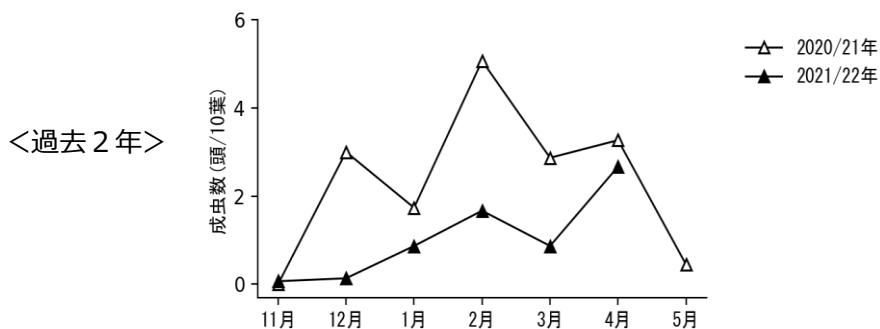
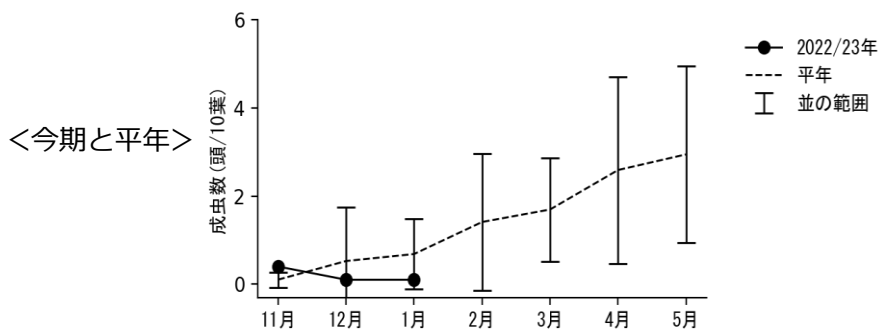
防除のポイント

- ・葉には周囲が黄色で中央が灰色の円形病斑を形成し、果実では表面にすす状のカビを生じる。
- ・老葉や病葉は発生源になるので、施設外に持ち出し処分する。
- ・過繁茂を避け、透光通風をよくする。
- ・多湿条件で発生が助長されるため、湿度管理に注意する。
- ・雨漏りする場所での発生が多くなるため、ビニールの破れ等は補修する。

|       |               |               |    |   |
|-------|---------------|---------------|----|---|
| 作物    | ニガウリ(施設)      |               | 地域 | 沖縄群島  |
| 病害虫名  | ③ ミナミキイロアザミウマ |               |    |  |
| 調査結果  | 1 月の発生量 (平年比) | 並             |    |   |
| 予報    | 1 月からの増減傾向    | ↗             |    |   |
|       | 2 月の発生量 (平年比) | 並             |    |   |
| 予報の根拠 |               | 平年の発生量の推移 (↗) |    |   |

調査結果


成虫数の推移



・発生施設率40.0% (平年 : 32.5%)

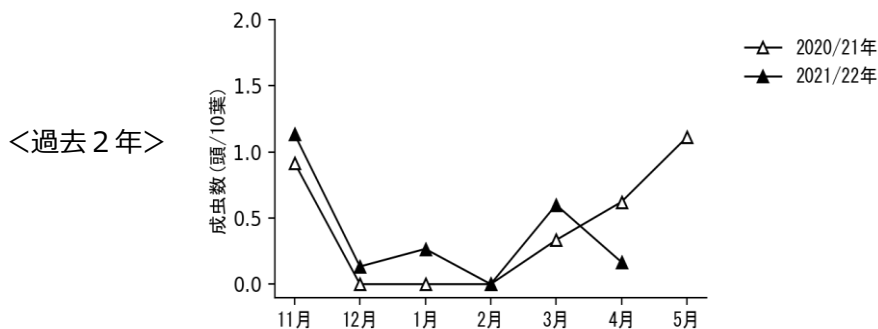
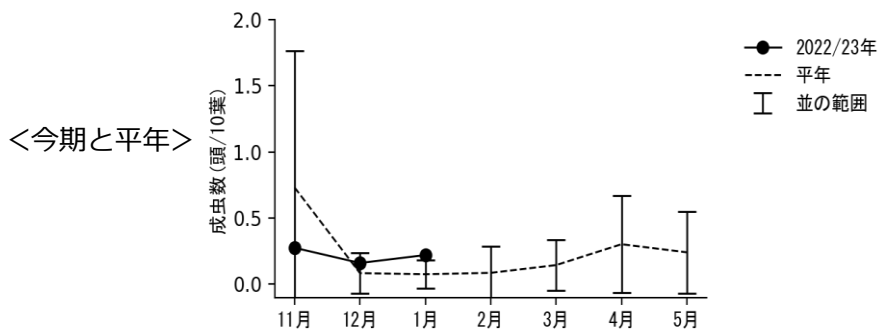
防除のポイント

- ・本種は吸汁により果実表面にケロイド状の被害を生じるほか、スイカ灰白色斑紋ウイルスを媒介する。
- ・施設の出入口や側窓は0.6ミリ以下のネット等で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。
- ・施設周辺の雑草は本種の発生源になるため除去する。
- ・多発すると防除が困難になるので、つる先や葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

|       |               |               |    |   |
|-------|---------------|---------------|----|---|
| 作物    | ニガウリ(施設)      |               | 地域 | 沖縄群島  |
| 病害虫名  | ④ タバココナジラミ    |               |    |  <p>成虫</p> |
| 調査結果  | 1 月の発生量 (平年比) | やや多           |    |   |
| 予報    | 1 月からの増減傾向    | →             |    |   |
|       | 2 月の発生量 (平年比) | 並             |    |   |
| 予報の根拠 |               | 平年の発生量の推移 (→) |    |   |

調査結果

成虫数の推移




・発生施設率60.0% (平年：15.0%)

防除のポイント

- ・多くの雑草が発生源となりうるので、施設内外の雑草除去に努める。
- ・施設開口部には目合い0.6ミリ以下の防虫ネットを展張し、本種の侵入を防止する。
- ・黄色粘着テープ等により、早期発見・防除に努める。
- ・幼虫は下位葉の葉裏に多いことに留意しながら薬剤散布を行う。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避け、気門封鎖系等の薬剤も利用する。

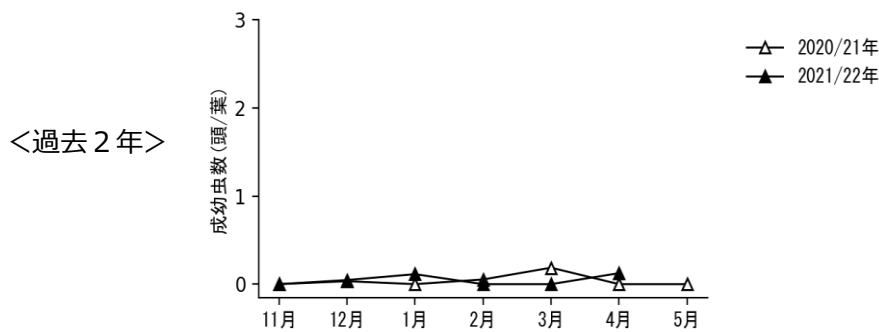
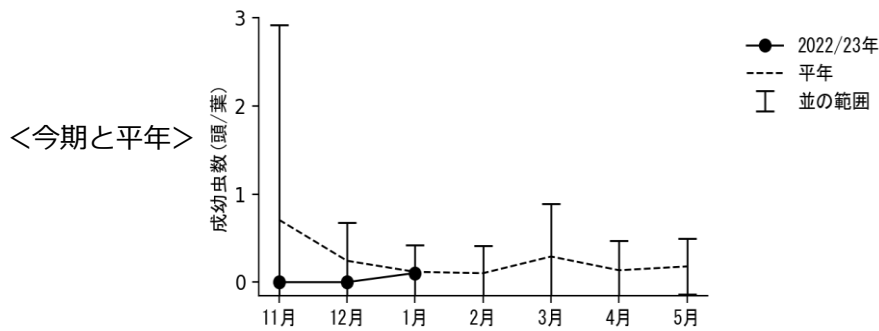


幼虫

|       |               |               |    |   |
|-------|---------------|---------------|----|---|
| 作物    | ニガウリ(施設)      |               | 地域 | 沖縄群島  |
| 病害虫名  | ⑤ アブラムシ類      |               |    |  |
| 調査結果  | 1 月の発生量 (平年比) | 並             |    |   |
| 予報    | 1 月からの増減傾向    | →             |    |   |
|       | 2 月の発生量 (平年比) | 並             |    |   |
| 予報の根拠 |               | 平年の発生量の推移 (→) |    |   |

調査結果

成幼虫数の推移



・発生施設率20.0% (平年 : 15.0%)

防除のポイント

- ・本種はウイルス病を媒介する。
- ・施設の出入口や側窓は0.6ミリ以下のネット等で被覆し、有翅虫の侵入を防ぐ。
- ・施設周辺の雑草は本種の発生源になるため除去する。
- ・早期発見に努め、薬剤が葉裏にかかるよう丁寧に散布する。